

課題が見られた問題例 (B活用)

【B活用 1三】

(書くこと：選択式)

手紙の構成を理解し、後付けを書くこと

問題概要  
手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれを適切に選択する。

1 中央小学校 六年一組 平川 春美

2 かがやきの森動物園 園長 宮本 真一様

3 平成二十四年五月七日

ご送付をおかけしますが、ご協力をいただけませんよう、どうかよろしくお願ひします。これからお休みに気をつけてお過ごしください。

ウ 2

ア 3

イ 1

要因分析

正答率【22.5%/23.5%】 無解答率【2.4%/2.1%】

- ・日付と宛て名の位置を逆に与えている。
- ・普段の手紙の書き方が「宛て名を先に書く」機会が多く、手紙の後付けの正しい順序や配置についての理解に課題がある。
- ・過去に「はがきの表書きに必要な事柄を選択すること」H21A③【69.9%/67.1%】でも課題が見られた。

指導上の工夫

手紙を送る学習活動

・手紙の後付けの配置については、他教科等も含めて、実際に送る手紙を書く場面を設定するなどして、継続的に指導することが大切である。

繰り返し指導のポイント

小学校低学年

伝えたいことを簡単な手紙に書く。

小学校中学年

目的に合わせて自分の考えが明確になるように手紙を書く。

小学校高学年

文章全体の構成の効果を考え、手紙などを書く。

中学校

伝えたい事柄を明確にして、文章の構成を工夫する。

国語科において、目的や意図に応じて内容の中心を明確にしたり、手紙の基本的な構成を踏まえたりして、実用的な文章としての手紙を書くことを押さえ、総合的な学習の時間等において実際に手紙を書くこと

【B活用 2二】

(話すこと・聞くこと、書くこと：記述式)

資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にすること (条件作文)

問題概要  
資料「部活動に対する満足度」を読み取った上で、中学生に質問したい内容を、次の条件に合わせて書く。

資料の中の中学二年生の割合と中学三年生の割合を比べてちがうこと、あるいは両方に共通していることを取り上げて、質問したいことをはっきりと書くこと。

六十字以上、百字以内にまとめて、発表するように書くこと。

正答例「満足している」の割合をみると、中学校二年生の二十九%に対して、中学校三年生はそれよりも十五%も高くなっています。そのことから、中学校三年生に、「どのような理由で満足度が高くなるのですか。」と質問をしたいと思います。

資料「部活動に対する満足度」

	満足している	どちらかという満足している	どちらかという満足していない	満足していない
中学2年生 (89人)	29%	45%	16%	10%
中学3年生 (94人)	44%	40%	13%	3%

要因分析

正答率【51.6%/52.6%】 無解答率【15.4%/14.5%】

- ・提示された(割合の)グラフの情報を、正確に読み取ることに課題がある。
- ・資料に含まれる具体的な数値を引用して、明確な質問を書くことに課題がある。
- ・過去に「グラフや表から情報を正しく読み取り、的確に書くこと」H20A⑦【48.9%/47.5%】、H21B②【26.2%/25.7%】でも課題が見られた。

指導上の工夫

図表や絵、写真などから読み取ったことを基に、自分の考えをまとめる学習活動

・写真や絵からわかること、疑問に思うことを自由に出し合ったり、自分で集めた情報を表やグラフに書き表したりすることが、資料を読み取る力を付ける上で大切である。

・話し合い活動において、図表やグラフから読み取ったことを根拠にして話し合うことが重要である。そのためには、社会科や算数科などで学習した資料の読み取り方を参考にすることが有効である。

繰り返し指導のポイント

小学校低学年

身近な事柄を簡単に説明する文章などを書く。

小学校中学年

収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書く。

小学校高学年

引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く。

中学校

論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して説得力のある文章を書く。

社会や理科の学習内容と関連付けて、資料となる図表やグラフを的確に読み取り結果を説明したり、その内容を引用して自分の考えをまとめたりすること